



みのかも定住自立圏 2021－2025

# 住み続けたい 住んでみたいまち

人がどんどんと都会へ出て行ってしまふ。人がいなくなってしまうと豊かな自然や、魅力ある街並みがなくなってしまう。この先、それぞれのまちの未来を考えると重要な課題。

そんな課題を解決するために、複数のまちが互いに協力し合いながらまちを守り育てていくのが「みのかも定住自立圏」です。

今回の特集では、令和3年度から令和7年度までの5年間で取り組むべき「みのかも定住自立圏」の内容について皆さんにご紹介します。

## ■ 地域一体で暮らしを守り育てること

近年、私たちの暮らしを取り巻く環境は人口の減少や少子高齢化、経済のグローバル化、大規模自然災害の多発など、かつて経験したことのない大きな変革、変動の時代を迎えています。また、今後はこの地域の人口減少、少子高齢化が進み、よりその状態が加速していく見込みです。そういった状況が進む中で、地域社会が抱える課題は多種多様で、その全てを1つの自治体だけで対応・解決していくことはより一層厳しくなっていくことが予想されます。その問題を解決するべく、この先50年後の圏域の未来をつくるためにも、人口の定住化を図るとともに、地域社会が自立した機能を持つことが必要です。

美濃加茂市と加茂郡は、古くから人や物の交流が深く、生活圈や文化圏、豊かな自然を共有してきたことで、互いの結びつきが強く、共存関係を形成してきました。そういった関係があるからこそ、美濃加茂市と加茂郡が1つの圏域として「強み」と「弱み」を互いに補完しながら、自治体の垣根を超え、圏域として課題解決を目指すために、今回「定住自立圏第3次共生ビジョン」を策定しました。

## ■この5年間で目指すものとは

定住自立圏第3次共生ビジョンでは、美濃加茂市と加茂郡それぞれがもつ「人」、「暮らし」、「文化・伝統」、「自然環境」などのさまざまな資源や機能がつながることで生まれる魅力を、圏域が一体となって守り、未来に向けて成長させていくことで、若者たちが圏域に愛着を持つことにより、将来彼らが、圏域の担い手として活躍ができるよう若者たちの定住化を進めます。

また、連携市町村がそれぞれの役割を担い、互いになくってはならない関係を築き上げ、ヒトやモノを圏域内で循環させることにより、経済的に自立した力強い圏域を作っていきます。

そして、国籍、文化などの違いを超え、一人ひとりがお互いを理解し、認め合うことができる地域を目指します。

「若者たちの定住化」「自立した力強い地域」「一人ひとりが互いに認め合う地域」、この3つを実現させることにより、「住み続けたい、住んでみたいまち」と思える圏域を目指していきます。

この将来像の実現にあたっては、国際目標である持続可能な開発目標(SDGs)の理念を尊重し、将来世代が希望を持ち続けることができる持続可能な圏域づくりを進めていきます。

### これまでの定住自立圏共生ビジョン

#### ●第1次共生ビジョン(平成22年～26年)

美濃加茂市と加茂郡の町村が順次同構想に関する協定を締結し、1市7町村でみのかも定住自立圏を形成。「民間の意欲と発想を引き出した新たな事業モデルの創造」、「時代の変化をとらえた新しい公共のあり方」、「目的や期待される効果の明確化」を元に圏域の連携による効率化(主に行政事務)や効果が高まる事業を展開しました。

#### ●第2次共生ビジョン(平成27年～令和2年)

基本方針を「都市圏とのつながり」「新しい公共」「市町村提案事業」と定め、「中心市と連携町村の1対1協定」、「特色・個性のある取り組みと地域の強みの活用」「新たにチャレンジする事業の創造」「人口定着と都市圏から人口流入」を重視し事業を展開しました。

### 第3次共生ビジョンへ

## 第3次共生ビジョンの基本方針

第3次共生ビジョンの5年間では、50年後の将来像で目指すまちや社会を作るために、圏域にとって今作り始めなければいけない「足腰となる土台」部分を重点的に取り組みます。

圏域の足腰の部分に必要な視点として、圏域住民の心と体の「健康」、今後の圏域を担う「未来のヒトづくり」(人材育成)、住民が生活するために必要な移動手段「公共交通」、いつ発生してもおかしくない大規模自然災害への対策の「防災」、圏域経済の活性化に働き手として必要不可欠な「外国人住民の定住」の5つの視点を重点分野として位置付け、それぞれの分野に具体的なテーマを掲げ、取り組みを展開していきます。

また、第1次、第2次共生ビジョンで実施してきた事業について、効果検証を行い第3次共生ビジョンの将来像実現にむけて内容を見直したうえで事業を実施します。



# 住み続けたい 住んでみたいまち

## 5つの重点分野

### 健康 「私は健康です」って言えますか？

おいしくご飯を食べる。好きなところに旅行に行く。人それぞれ、健康の考え方は違うけど、一緒なのは好きな時に好きなことができること。みのかも定住自立圏が取り組むのは、そんな思いを叶えるきっかけづくりを進めていきます。

#### 【関連事業】

ウォーキングイベント「かもけんウォーキング」、健康に関するデータの分析、24時間電話相談窓口、休日急患診療、心身に障がいのあるこどもの療育、福祉・医療サービス事業所の情報提供



### 未来のヒトづくり 「生まれ育ったまち」を意識したことがありますか？



まちを守っていくには人がいなければいけません。豊かな自然や魅力あるまちを守っていくには、それを次の世代に伝えなければいけません。そのためにまちのことを好きになってもらい、まちを好きになってくれる人を増やすことが大切。それがまちの未来につながっていきます。

#### 【関連事業】

里山体験・里山暮らしの聞き書き、里山の担い手育成、里山の情報発信、三年晩茶の製造、川の暮らし体験、地域メディアによる魅力発信

※関連事業により連携する市町村は異なります。

